

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ①グリーン分野(4/5)

	総合 評価 (ⅠとⅡとⅢ を1:1:2の割 合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組 の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と 地域独自の取組の 状況	Ⅲ 取組全体にわたる 事業の進捗と政策 課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
ながさき海洋・環境 産業拠点特区 (長崎県、長崎市、 佐世保市、西海市)	4.1	進捗度 ・県内造船所による高付加価値船・省エネ船の建造量 85% ・県内造船所による環境関連機器の取扱件数 82% ・海洋再生可能エネルギー実証プロジェクト実施件数(累計) 100% 等	財政支援等 ・燃料電池船技術評価FS事業 地域独自の取組 ・ものづくり支援補助事業 ・海洋エネルギー関連産業集積促進事業 等	4.0	・厳しい状況におかれているが、海洋再生可能エネルギーの導入促進という追い風もある中で、今後の発展に向けた優れた取組を行っていると評価できる。 ・省エネ船、水素船、洋上風力発電は我が国がカーボンニュートラルを達成する上で重要な技術であるだけでなく、世界のカーボンニュートラルに日本が貢献できる可能性の高い分野でもあり、大変タイムリーな取組となっており、さらなる取組の強化が期待される。 ・コロナ禍での不確実な部分を除いて、クルーズ船を含む修繕船事業へのシフトに対して保税工場の修繕、改造(改修)資材での活用に加え、部分改修での高付加価値化、省エネ化、環境関連機器の取扱が何らかに見込めるのかについての検討も、期待したい。 ・関税法、環境アセスメントの規制の弾力的運用等について協議を進めている。燃料電池FS事業等の活用を期待する。 ・修繕船事業へのシフトに伴い、例えば保税倉庫や保税工場を海洋再エネ発電設備の海外製部品の組立加工等にも使える可能性が生じるなど、事業変化に伴う造船業の生産ストックの潜在能力活用につながる取組の検討などにも期待したい。 ・海洋再生可能エネルギーの利用発電については、五島沖に加えて西海市江島沖の促進区域に向けた協議の進展に期待。